

信州大学サポーターズクラブメルマガ第 92 号 2021 年 3 月 31 日

信州大学サポーターズクラブ

メ | ー | ル | マ | ガ | ジ | ン | 第 92 号 |

信州大学サポーターズクラブ事務局

2021 年 3 月 31 日

-----毎月月末に配信しています-----

【 I N D E X 】

シンダイ百科

信大からのお知らせ

信州の景色

■■■■■■■■■■ 【 シンダイ百科 】 ■■■■■■■■■■

「信州大学 劇団山脈(やまなみ)」

をご紹介します！

「信州大学 劇団山脈」は全キャンパスに姉妹劇団があり松本キャンパスでは 40 人で活動しています。役者から音響照明オペレーターまで、全てを学生だけで行うという本格的な活動を代々続けているとのこと。今回は経法学部の新井さんにお話を伺いました。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。

■■■■■■■■■■ 【 信大からのお知らせ 】 ■■■■■■■■■■

令和 3 年度信州大学入学式について（ライブ配信）

令和 3 年度信州大学入学式は、昨今の状況を鑑み対策を講じた上で、2 部制にて実施することとなりました。1 部 2 部ともにライブ配信を予定しております。また、入学式は学部により開式時間が異なります。入学式及びライブ配信については下記 URL からご覧ください。

○詳細はこちらから

(入学式)

<https://www.shinshu-u.ac.jp/news/2021/02/3-123.html>

■■■■■■■■■■ 【 信州の景色 】 ■■■■■■■■■■

身近な春の風景

朝夕はまだ肌寒さを感じますが、日中は暖かい日がだんだん増えてきましたね。今回は松本キャンパス内で見つけた身近な春をご紹介します。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。

メルマガのバックナンバーはこちらから

<http://koyukai.shinshu-u.ac.jp/mail/>

『信州大学サポーターズクラブメールマガジン』

編集・発行/信州大学サポーターズクラブ事務局

長野県松本市旭 3-1-1

【 Mail 】 koyukai@shinshu-u.ac.jp

【 H P 】 <http://koyukai.shinshu-u.ac.jp/>

【 F B 】 <https://www.facebook.com/shindai.koyukai>

2021.3.31



信州大学サポーターズクラブ【シンダイ百科】第92号

Q. 信州大学劇団山脈(やまなみ)はどんな団体ですか？

A. 劇団山脈は、1949年創立の学生演劇サークルです。年3回の定期公演と多数の番外公演を行っています。1公演に1ヶ月強の稽古期間を設けて取り組みます。役者、演出、戯曲執筆、舞台制作、音響照明オペレーター全てを学生だけで行う、誰もが演劇に関われる場所です。スタッフ作業や公演の企画・運営も団員達で行っているので、「演劇をつくる」ということを強く感じられるサークルです。具体的には、役者、演出、戯曲執筆、音響照明オペレーターに関しては、希望を出すことで誰でも好きな役割を担うことができ、固定はされていません。舞台製作に関しては、入団時点で大道具や衣装などの部隊(チーム)に所属していただくことになりますが、他の部隊の作業にも参加したいという希望があればその他の部隊に参加しても構わないという、各々のやりたいことを尊重した自由なスタイルで活動しています！



【2019年11月 銀嶺祭公演にて出演者で記念撮影】

Q. 主な活動内容を教えてください。

A. 春・夏・冬の年3回の定期公演と、銀嶺祭公演、卒業公演など多数の番外公演を行っています。松本市を代表する『まつもと演劇祭』など外部の公演企画に参加することもあります！稽古は、平日の放課後と休日の日中に行っています。長期休暇には半日かけて稽古に集中することができます。ウォームアップ→発声→基礎練習→公演の稽古というのが1日の流れになっています。日々の活動で意識していることは、演劇は、基本的には一緒に作るメンバーの誰が欠けても成立しない、一人一人の存在が大切なものだということです。そのため、運営側は運営側、役者は役者、スタッフはスタッフとして、互いの意思を聞き合い、尊重しつつ、公演の成功のために自分のできる最高の仕事をすることを目指しています。



【2018年 劇団山脈の山脈スタジオにて撮影】

Q. Twitter への投稿を拝見しましたが、昨年は初の録画配信を行ったそうですね。お客様の反応はいかがでしたか？

A. 我々も初めての試みで不安が尽きませんでした。多くの方々にご覧いただき、大変嬉しかったです。以前では考えたこともなかった公演形態ですが、会場にお越しになれない方にもご覧いただけたことなど、様々なメリットがあり、お客様からも好評でした。

Q. 団員の方々は「録画配信」という表現方法はどのように捉えたのでしょうか？

A. やはり、演じる側としても、観客席にお客さんがいることで奮い立ち、演技も良いものになるような気がします。人によって感じ方は様々だとは思いますが、回答者の個人的な意見としては、その場の空気やお客様の存在も含めて、「演劇」なのではないかと思っています。



【2020年2月 ささべミュージックフェスティバルにて出演者で記念撮影】

Q. そのほかメッセージやコメントがあればお願いします。

A. 現在、4月に行う春公演の計画も動き出しています。こちらの詳細は劇団山脈 HP や twitter にて追って告知していきますので是非チェックしてみてください。劇団山脈では、常時新入団員を募集しております。新入生はもちろん、二年生以上の方も経験・未経験を問わず大歓迎です！！お問い合わせは劇団山脈公式ホームページ、Twitter、メールアドレスまで！

HP：<https://sites.google.com/view/shindaiyamanami>

Twitter：@shindaiyamanami

Gmail：shindaiyamanami@gmail.com

公演に向けての日々の練習はもちろん、録画配信という新しい方法にもチャレンジする、劇団の皆さんが演劇に掛ける熱量がしっかり伝わってきました。皆さんの熱量がお客様にも伝わるといいなと思います。この度はインタビューにご協力いただきありがとうございました。

信州大学サポーターズクラブ【信州の風景】第92号

医学部図書館横で見つけました。名前は蔓日日草（ツルニチニチソウ）といい、耐寒性・耐乾性に優れ、開花は3月下旬から始まるそうです。寒くて乾いた冬から暖かい春へ季節が巡ってきている証拠ですね。

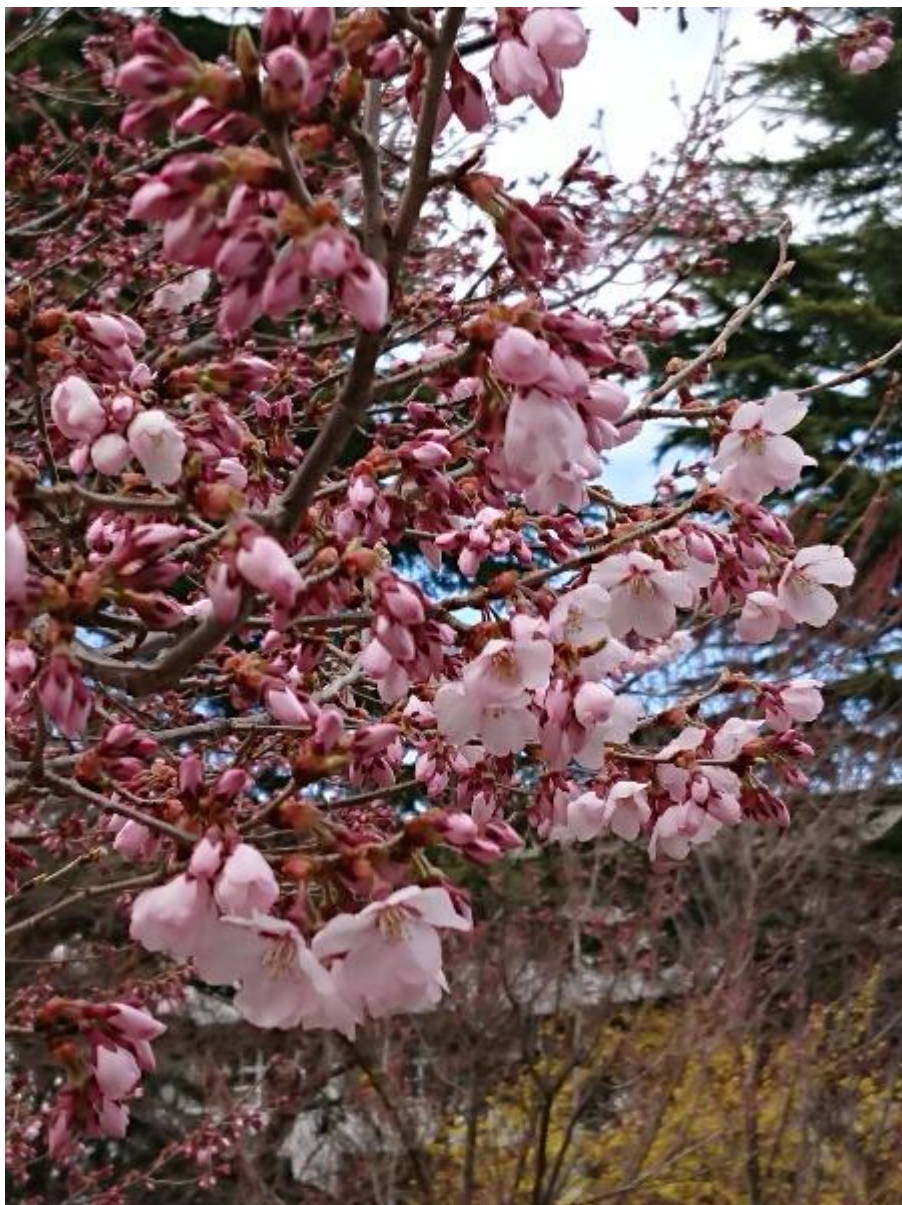


正門から入って右手はヒマラヤスギの大木が枝を広げています。その隣には山茱萸（サンシュユ）の花が咲いていました。



サンシュユは漢名（中国植物名）で日本名の別名は春黄金花（ハルコガネバナ）といい、早春に葉がつく前に木一面に黄色の花をつけることから名前が付いたようです。明るい黄色は春がもうすぐそこに来ている。と教えてくれているのですね。

その隣にはタカトオコヒガンザクラが咲いていました。



花形はやや小ぶりで赤みの濃いピンク色です。蕾の状態だと濃いピンク色であることがよく分かりますね。



こちらは上の写真の3日後に撮影した写真です。暖かい日が続いたため一気に開花したようです。ピンク色がかかった花はとても可愛らしく、柔らかい印象を与えます。平成2年4月に高遠で行われた「国際さくらシンポジウム」でマメザクラとエドヒガンの交配種の一つで、高遠固有の貴重な桜として「タカトオコヒガンザクラ」と命名されたのだそうです。

4月には新しい環境で新しい生活が始まる。という方もいらっしゃると思います。その前にちょっと時間をつくって、暖かい陽気の中を散策して気分を一新させてみるのも良いかもしれません。